

第1学年1組 学級活動指導案

平成18年11月17日（金）第3校時

1 題材 「ハートぴったり」

2 題材設定の理由

4月に入学して、約7ヶ月間、同じクラスの仲間として生活してきた。1年生は、どの子も「友達をたくさん作りたい」という願いをもっているが、このころの子ども達は、物事を自己中心的に考える時期であり、まわりに目が向かない児童も多い。また、学校生活に慣れ、友だちができてはじめても、幼稚園が一緒、家が近所というような入学前の環境によってできた交友関係も目立つ。さらに、友だちを求めながらも、コミュニケーションをどう図るかがわからずトラブルを起こしてしまう児童や、輪に自分から入れない児童も見られる。

このような時期の子ども達の友達関係を広めていくためには、意図的にいろいろな子ども達と関わりをもつ場を設定することが必要であると考えてこの題材を設定した。本活動を通じて、学級の友達のことを今以上に知り、友達関係を広げていきたい。活動の中で偶然的にできた小集団の中で、思いを共有することや、友達に対する新たな発見をすることで、今後の友達関係が広がることを期待したい。

3 児童について（男子20名 女子15名 計35名）

4月から「みんななかよし」をめあてに決め、思いやりのある仲のよい学級作りに取り組んできた。毎日の様子を見てみると、いろいろな友達に積極的に働きかけ、男女関係なく仲よく遊んでいる児童もいる。

4 指導について

学級がすべての子にとって居心地のよい場所になるためには、学級内の温かい人間関係に基づく学級風土が基盤であるのは言うまでもない。そのための一つとして、現在の友達関係を大切にしながら、その上に新しい友達関係を築いていくことも必要であると考えます。

そこで、子ども達にいろいろな友達とのふれあいの場をふやす方法として、構成的グループエンカウンターを取り入れることにした。ここまで2回のエクササイズ行ってきた。「ほめほめジャンケン」（ジャンケンゲームを入れながら友達のよさを見つける）、「ゴリオリゲーム」（仲間さがしゲームを楽しみながら集団で遊ぶ楽しさや面白さを実感する）である。

本時は、「ハートぴったり」というエクササイズを行う。項目に対し何種類かの答えを用意し、自分の気分や気持ちにあったものを子ども達が自由に選び、同じものを選んだ子ども達同士で仲間作りをしていくゲームである。

まず、項目に対する自分の考えを決定する時間を確保する。同じ考えで集まった小集団には、自分と共通の考えをもつ仲間という安心感があり、仲間意識を容易にもたせることができる。さらに、集まった友達と手をつなぎ、一つの輪を作り「ぴったり。」という合言葉を言うことにより、団結感を高め、次の聞き合い活動への意欲化を図りたい。次に、グループで選択したもののよさをそれぞれが発表する。その時に、互いの発表を聞き合うように助言する。発表者は、思いが同じということで安心感や自信が生まれ、聴く側は、選択肢は同じでも理由が違うという認識の広がりがあり、自分と違うよさをもった友達への関心を高めていく。最後に、感想を発表する中で、今まで話さなかった友達と話ができてうれしかったことに気づかせるとともに、いつも仲よく遊んでいる子と考えが違うこともあることに気づかせ、これからもいろいろな子と仲よく遊ぼうとする意識づけを図りたい。

5 本時の目標

自分や友達のことを知り、仲よくしようとする気持ちをもつ。

6 準備物

項目と答えの絵カード・4つのコーナーカード・ふりかえりワークシート

7 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)
○「小さな世界」の歌を歌う。	・歌を歌うことで、和やかな雰囲気をつくる。
<p><インストラクション></p> <p>○本時の課題を知る。</p> <p style="text-align: center;">「ハートぴったり」で、友達のことをもっと知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールの説明を聞く。 <p><エクササイズ></p> <p>○「ハートぴったり」のゲームをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな食べ物を4つの中から決める。 〈カレーライス・かつどん・すし・そば〉 ・考えが決まったら、ワークシートに書いてから起立する。 ・各コーナーに移動する。 ・集まった仲間と輪になって「ぴったり。」と言う。 ・グループごとに自分たちの選んだもののよい点を話し合う。 ・好きな色〈赤・青・黄・白〉、飼ってみたい生き物〈ハムスター・犬・カブトムシ・うさぎ〉、学校で好きな時間〈国語・算数・掃除・集団登校〉についても、同様に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの内容について話し、留意点を確認し、楽しく活動できるようにする。 ・あらかじめ4つのコーナーに、紙をはっておく。 ・友達のまねをしないで、自分で決めるように声かけをする。 ・ぴったりする言葉がないときは、一番近いところに行くように助言する。 ・グループの人数が多い場合には、4名程度のグループに分け、話し合い・聴き合いができるよう配慮する。 <p>☆グループの友達と思いを共有することができたか。(行動観察)</p>
<p><シェアリング></p> <p>○「ハートぴったり」をした感想を発表する。</p> <p>○「ハートぴったり」をした感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをして思ったことを感じたまま発表するよう助言する。 ・何人かに感想を発表させる中で、同じ考えの友達のことだけではなく、仲よしの友達といつも考えが同じではないことにも気づかせる。 ・ゲームをした感想や今度いっしょに遊びたい友達などをワークシートにまとめ、今後の生活の中で関わりをもてるよう意識化を図る。 <p>☆いろいろな友達と遊ぼうという意欲をもつことができたか。(発表・ワークシート)</p>